

**SIIG 社 USB カード (DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe)、
Tech Source 社 グラフィックカード(GFX 550e)、
Rextron 社 KVM コンソール・ドロワ(Model HKS10) と
SPARC M10-1 (Oracle Solaris10)の
接続検証結果報告書**

株式会社 昌新
技術部

1. 作業実施概要

SIIG 社の USB インタフェースカード DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe と、Tech Source 社のグラフィックカード GFX 550e と、Rextron 社 KVM コンソール・ドロワ Model HKS10 と、SPARC M10-1 との 接続・動作確認を実施致しました。

2. 被検証装置

品 名	型名	記 事
富士通 UNIX サーバ	SPARC M10-1	Oracle Solaris10
USB インタフェースカード DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe	JU-P40112-S1IS	RoHS 対応
グラフィックカード Raptor GFX 550e	19-0156-02IS	RoHS 対応
KVM コンソール・ドロワ Model HKS10	REX/HKS10-IUM8D	RoHS 対応 解像度 SXGA 1280x1024 表示色 1670 万色

SPARC M10-1



Raptor GFX 550e



REX/HKS10-IUM8D



DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe

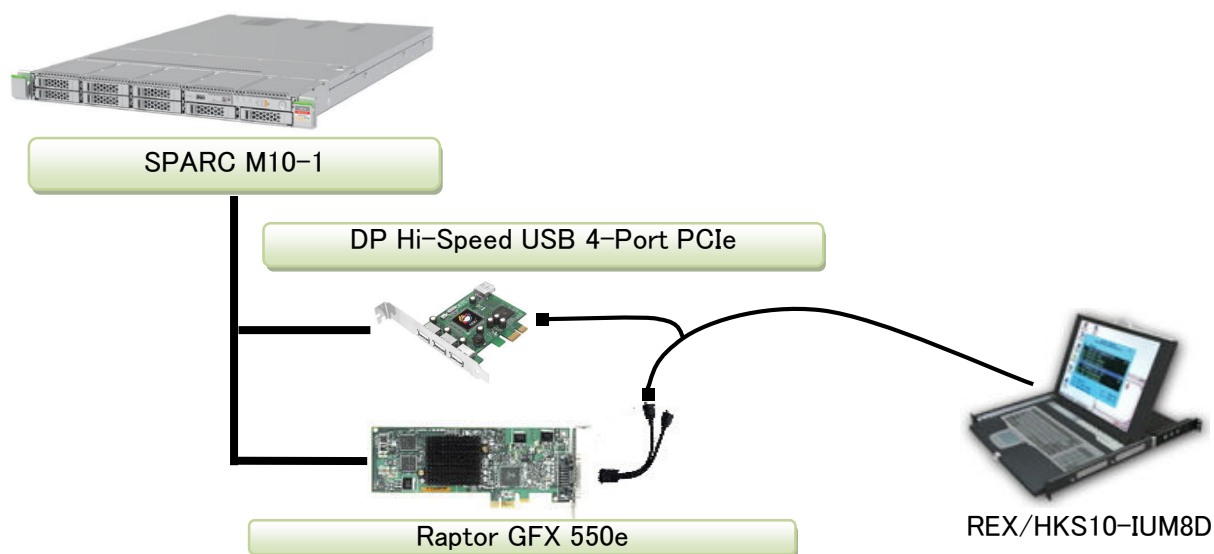
3. 作業期間

2013 年 03 月 25 日

4. 作業場所

富士通検証センター(東京・浜松町)30F Server Room 2

5. 実施システム構成(概要)



- (1) USB Interface Card (DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe)
- (2) High Resolution PCI Express Graphics Board (GFX 550e)
- (3) Primary Display , K/B, Mouse (REX/HKS10-IUM8D)
- (4) SPARC M10-1 (Oracle Solaris10)

6. 検証項目

- (1) SPARC M10-1 を起動し、OS 起動完了後、
 - ① USB インターフェイスカードに接続した USB キーボード/マウス が認識できる事。
 - ② グラフィックカード GFX550e が認識できる事。
- (2) X-Window を起動し、画面が HKS10-IUM8D の LCD 画面で、X-Window ログイン画面が確認出来、キーボード・マウスから操作できる事。
- (3) 起動した X-Window において、キーボード配列が、日本語キー配列仕様 で、正しく入力操作ができる事。
- (4) KVM コンソールドロワで切替を行い、画面、キーボード、マウス操作が行える事。

7. 接続手順

7-1. SPARC M10-1 との接続

- a. SPARC M10-1 の電源を OFF します。
- b. USB インタフェースカード を SPARC M10-1 の PCI Express スロットに挿入します。
- c. グラフィックカード GFX 550e を SPARC M10-1 の PCI Express スロットに挿入します。
- c. GFX 550e ビデオ信号出力コネクタへ、REX/HKS10-IUM8D 専用ケーブルのコンピュータ側ビデオ入力コネクタをアナログアダプタ経由で接続します。
- d. USB インタフェースカード の USB コネクタへ、REX/HKS10-IUM8D 専用ケーブルの USB キーボード/マウス の USB コネクタ とを接続します。
- e. REX/HKS10-IUM8D 専用ケーブルのドロワ側を REX/HKS10-IUM8D 入力側 ポート1 へ接続します。
- f. SPARC M10-1 の電源を ON し、OK プロンプトから、“boot -r” で、起動します。
- g. root でログイン後に、グラフィックカード GFX 550e のドライバーソフトウェアをインストールします。

8. 検証結果

- (1) USB インタフェースカード DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe の認識、及び、グラフィックカード GFX 550e の認識は、SPARC M10-1 起動後、prtconf から確認致しました。
- (2) X-Window を起動し、グラフィックカード GFX550e 経由 HKS10-IUM8D の LCD モニターと、キーボード・マウス とで、X-Window システム を操作出来る事を確認致しました。
- (3) 起動した X-Window のキー入力に措いて、HKS10-IUM8D のキーボードキー配列が、日本語キー配列仕様で、キー配列仕様に一致した文字入力出来る事を確認致しました。
- (4) KVM コンソールドロワで ポート1, ポート2 の切替を行い、画面が切り替わり、キーボード、マウス操作が行える事を確認いたしました。

【制限事項】

- ① サーバー起動時のシステムコンソールは、XSCF 経由でのシステムコンソールとなります。システムコンソールの入出力に、グラフィックカード GFX550e 出力と、キーボード入力を設定する事は出来ません。
- ② SPARC M10-1, SPARC Enterprise M3000/M4000/M5000 の適用となります。
- ③ HKS10-IUM8D のキーボード配列(英語キー配列 or 日本語キー配列)は、ご注文される際に、ご指定ください。
- ④ GFX550e ドライバーインストール、X-Window の設定方法等は、GFX550e 付属日本語マニュアルを参照願います。

※ **ご注意**

動作確認が取れている組み合わせは、

弊社 KVM コンソールドロワ(Model HKS10 [P/N:REX/HKS10-IUM8D])

弊社 USB カード(DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe [P/N:JU-P40112-S1IS])、

弊社グラフィックカード(Raptor GFX 550e [P/N: 19-0156-02IS])、

となります。これ以外の組み合わせにつきましては動作保障致しかねますが、まずは下記連絡先にお問い合わせ下さい。

お問合せ先

株式会社昌新

情報システム営業部 (担当: 浅利)

TEL: 03-3270-5926

E-mail: IS@shoshin.co.jp

URL: <http://www.shoshin.co.jp/c/tsi/index.html>

URL: <http://www.shoshin.co.jp/c/rtron/index.html#hkn10>

以上